

既存ストックの活用による共同居住型住宅の居住水準に関する検討会  
(第1回)

議事概要

○事務局及び長谷川委員より住宅セーフティネットを取り巻く状況、共同居住型住宅の居住水準の考え方等についての資料を説明のうえ、議論を行った。

○委員の主なご意見は以下のとおり。

- ・水廻り等の共用設備の箇所数は、居住者の属性によっても変わるものであるため、さらに知見を集めて検討する必要があるのではないか。
- ・住宅確保要配慮者には非常に幅広い対象が含まれ、それぞれ住まいに求められる機能が異なるということを考慮するべきではないか。
- ・大都市と地方とでは、住宅ストックや空き家の状況、住宅確保要配慮者の実情が異なるため、実態を踏まえた基準設定が必要ではないか。
- ・空き家等の住宅ストックについて、もう少し詳細なデータを提示してほしい。

以上